

# い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
[http://www.city.ikeda.  
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

# けだ

No.143

いけだ市議会だより

平成27年(2015年)5月1日



<b>3月定例会</b> . . . . .	2
意見書 . . . . .	3
請願 . . . . .	3
<b>各派代表質問</b> . . . . .	4
<b>委員会レポート</b> . . . . .	10
議会日誌 . . . . .	11
議決結果 . . . . .	12
やまばと . . . . .	12

池田城跡公園にて

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



# 3月定例会

3月定例会は、2月27日に開会し、市長から提出された平成27年度各会計予算や教育委員会制度改正に伴う条例改正など議案34件、並びに人事案件1件を、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、市長の「平成27年度施政及び予算編成方針」と、教育委員会の「平成27年度教育方針と主要施策」が発表され、それらに対する各派代表質問を3月5日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして、3月19日には、追加議案1件と委員定数の変更などを行う委員会条例の一部改正の議員提出議案を審議し、いずれも原案どおり可決し、3月定例会を閉会しました。

## 一般会計予算は

### 370億円

平成27年度の池田市の予算総額は812億7287万円で、前年度当初予算と比べて4・0%、30億9728万円の増となっています。

また、一般会計予算は369億9100万円で、前年度当初予算と比べて7・4%、25億3700万円の増となっています。

一般会計の主な事業内容としては、子育て分野では、4月から全国的にスタートする子ども・子育て

支援新制度に合わせ、市内では私立保育所などが増設され、保育所定員枠が110人増員になります。これに伴い、児童扶助費や施設の運営費補助の拡充を図るため、14億158万円が計上されます。予算額8963万円の妊婦・乳児健康診査事業のうち妊婦健診では、公費負担額を14回8万4000円から同10万円に増額されます。

また、児童医療費助成事業では、平成26年度に比べて2400万円を増額し、小学校卒業までから中学校卒業（15歳到達後の最初の3月末）まで拡充されます。福祉分野では、大阪府が平成27

年3月末で廃止する「入院時食事療養費助成」を本市の事業として継続実施するため、予算額800万円を計上し、対象者に入院時の食事療養費を引き続き助成します。環境分野では、クリーンセンターが稼働から31年経過しており、今後、安定した稼働を維持することが困難になるおそれがあるため、長寿命化計画の策定と、それに基づく基幹的設備の改良を行うための発注仕様書などの作成で1700万円が計上されています。

観光分野では、市内観光に訪れる外国人が年々増加していることなどから、てるてる広場の案内板の設置やトイレ改修に1000万円が計上されています。

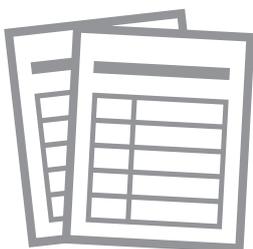
教育分野では、子ども安全対策事業として359万円が計上され、全ての市立小学校において、子どもたちの安全・安心な登下校をより一層確保するため、平成27年度から全児童にICタグを無償貸与し、有料メール配信費用の4分の1が補助されます。

一般会計予算の反対意見としては、総合窓口事務業務等委託事業者選定評価委員会の設置や、やまばと学園の調理業務委託は、「池田市行財政改革推進プランⅡ」に則って民間委託・民営化を一層進めるものであり問題であること、

国で同和行政が終結したにもかかわらず、不正で法的根拠のない同和行政を事実上継続していることを改め、同和行政終結宣言を行うことを強く求めること、保育実施責任をもつ本市が公立保育所を減らすことは問題であるとの意見がありました。

一方、賛成意見としては、市税収入の増収に期待が持たず、扶助費や公債費が年々増加してきており、依然として厳しい財政状況にある中、平成30年度末時点で10億円の財政調整基金を確保する計画に取り組まれることは高く評価できること、障害者総合支援法に基づく各種給付などに加え、新たに精神障がい者に対するバス運賃の助成を実施するなど総額1億円を超える予算の増額により、きめ細やかな障がい者の福祉サービスを実施する予算となっており評価できるなどの意見がありました。

他にも意見がありました。賛成多数をもって原案通り可決しました。



平成 27 年度 池田市会計別予算

会 計 名	予 算 額
一 般 会 計	369 億 9,100 万円
特 別 会 計	
国民健康保険特別会計	130 億 7,892 万円
財産区特別会計	3 億 944 万円
介護保険事業特別会計	79 億 8,351 万円
後期高齢者医療事業特別会計	18 億 5,105 万円
企 業 会 計	
病院事業会計	126 億 96 万円
水道事業会計	42 億 2,907 万円
公共下水道事業会計	42 億 2,892 万円
合 計	812 億 7,287 万円

国の緊急経済対策に伴う  
補正予算を可決

平成 26 年 12 月 27 日に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に伴い、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」が創設されました。本定例会では、この交付金を活用して実施するふくまる商品券発行事業など 16 事業の補正予算が追加議案として提出されました。交付金が創設された趣旨や 16 事業の内容などについて議論がりましたが、全会一致で可決しました。

意見書

3 月定例会においては、次の意見書を探択し、関係機関に送付しました。

○ 地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

請 願

3 月定例会に市民から提出のあった請願の審査結果は、次のとおりです。

○ 介護保険料に関する請願  
..... 不採択



謝罪発言について

3 月 12 日開催の総務委員会において、中西昭夫議員が、市の職員に対してパワーハラコメントを受け取られても仕方のない発言などをして、議会運営に支障をきたしました。ついては、3 月 19 日の本会議の冒頭で当該議員より謝罪発言がありました。左記は 3 月 19 日の本会議中に当該議員が発言した謝罪発言です。

《中西昭夫議員による謝罪発言》

任期最後の 3 月定例会最終日の冒頭に、貴重な時間をいただき、また、発言する機会を与えていただき、壇上からではございますが、感謝申し上げます。

3 月 12 日に開催されました総務常任委員会での議案審査におきまして、市長初め教育委員会関係者の皆さまに対し、私の不適切かつ無礼な言動により、多大なご迷惑をおかけしたことにしまして、この場をおかりして謝罪させていただきますと思います。

具体的には、担当職員からの答弁に對しまして、その内容が事実であるにもかかわらず、みずからの調査不足による思い込みにより、私は、その発言を「虚偽報告」と断定し、「間違えた発言をした場合はクビになる」とか「虚偽の報告をした場合は懲罰に値する」などの、パワーハラ

コメントと受け取られても仕方のない発言をしました。

あわせて、それは、パワーハラと受け取られた場合、「それによって私の議席が飛んでしまうということになれば大変なこと」として発言したものです。

そうした私の発言に對し、委員長からは再三の注意を受けたわけですが、私は、担当者に対して十分な陳謝をすることなく、また、みずからの発言を訂正せずに審査を続け、委員会の進行を停滞させたこと、そして、何よりも、理事者との信頼関係のうえに成り立つ議会運営に支障をきたしたことは、議会人として恥ずべき言動であったと深く反省しております。

また、私の議員としての調査の甘さ、みずからの意思の赴くままの言動は、議長を初め議員の皆さま方に對しても多大なご迷惑をおかけすることになり、議会の品位を著しく低下させた責任は非常に大きなものであると痛感しております。

今後は、このようなことがないように自戒し、残り少ない議員としての任期を務めてまいりたいと考えております。

改めて、担当職員はもとより、市長を初め全ての職員の皆さま方、そして、議長を初め議員の皆さま方に対し、自戒の念を込め、深くお詫びさせていただきます。申し訳ありませんでした。

# 代表質問

日本共産党議員団

難波 進 藤原 美知子  
山元 建



質問者 藤原 美知子

市民犠牲の行革から、  
福祉・医療・暮らし最優先へ

## 国政・府政の 池田市への影響は

問 社会保障削減・大企業減税・軍事費増強の政府予算案は、家計も地域経済もさらに深刻にし、地方の衰退を招くものである。

また、福祉を切り捨てカジノやリニア新幹線に税金を投入する大阪府政のあり方や、大阪市を解体する「都構想」をどう考えるか。

## 「都構想」は 「大阪市解体構想」

問 国の予算案は経済再生と財政再建の両立に向けたものと認識。交付金はプレミアム付商品券の発行、定住促進の事業を検討。「都構想」は、「大阪市解体構想」で、それを問う住民投票だ。大阪市の2兆円の借金を府民が被るもの。

## 府教育長の パワハラをどう見るか

問 大阪府教育長による教育委員や事務局職員に対するパワハラ問題について市教育長の見解を問う。

## 教育者として 断じて容認できない

答 他者の意見を傾聴する大切さを教えるべき教育行政をつかさどる立場にある者として、断じて容

認できない。

## 国保証は 加入者全員に届けること

問 国民健康保険の都道府県化は保険料の値上げや徴収強化、医療費削減を押し付けるものである。

広域化に反対し、国庫負担の増額を求め、市の一般会計からの繰り入れを増やして保険料引き下げを図ること。資格証明書の発行や短期保証の窓口留置をやめ、医療を受ける権利を保障すべきでは。

## 窓口留置はやめ、 すべて郵送した

問 国保は高齢者や低所得者が多いという構造的な問題を抱えており、国の財政支援と広域化による運営の安定化が不可欠。大阪府市長会を通じ国に要望している。短期保証は郵送で交付した。

## 市立池田病院の拡充を

問 市民の命を守るため、脳神経外科の充実を図り緊急手術ができるようにすること。産科・小児科の医師・看護師の確保で、市内で出産できる体制を強化し、小児救急医療体制を整えるよう求める。

## 常勤医師の採用確保に 努める

問 脳神経外科は常勤医師の採用が困難で、外部より応援医師3名を配置している。今後も常勤医師の採用確保に努める。産婦人科、小児科についても、大学医局に対し常勤医師の派遣を働きかける。

## 災害対策の強化 迅速な対応を

問 昨年の集中豪雨で五月山の土砂崩れや浸水被害が発生した。災害対策の強化や迅速な対応が求められる。今後の施策を問う。

## 浸水シミュレーションで 対策検討

問 警報発表に先立ち職員参集を行い、避難準備情報の発令等、適切な処置ができるよう体制の見直しを図る。また、被害を減らすため、浸水シミュレーションを行い、今後被害が起こりうる所への手当てを物理的にどうするかが課題。





# 各派



質問者 木下克重

## 自民同友会議員団

木下克重 細井馨  
秦寛房 小林義典  
浜地慎一郎

### 市民のための、市民に軸足を おいた市政推進

#### 池田の活力 商業振興の活性化策は

問 池田には五月山をはじめとする観光資源はあるが、市内に点在しており、まちの活性化に繋がっていないのが現状である。方策は。

#### 官民一体となり 事業展開を図る

答 現在、本市では五月山観光回遊ルート事業を展開中で、公共施設のみならず、民間観光施設も含めた観光客誘致に取り組んでいる。今後も、点在する観光スポットの充実を図りながら、官民一体で回遊性の高い事業展開を実施する。

#### 大阪国際空港や周辺地域の 活性化

問 本年度に予定の運営権売却に向けた動きの中で、プロペラ機枠から低騒音機枠への転換は夏ダイヤから最終段階となり国内長距離便が増便へ。また、遅れていたターミナルビル改修工事が新年度に着工予定で、遊休地の有効利用も関係機関により進められている。空港と周辺地域の活性化策は。

#### 旅客数の増加による 活性化を期待

答 低騒音機枠への段階的な転換や長距離便増便で旅客数が増加し、空港の活性化が図られている。今後のターミナルビル改修や北貨物地区（池田市域）の一体活用などによる旅客数の増加が、周辺地域の活性化にも繋がるものとなるよう期待している。

#### さらに充実した 市立池田病院へ

問 新年度に、かかりつけ医からのニーズの多いMRIや放射線治療装置などの医療機器を購入・機能更新し、病状の早期発見・がん診療連携拠点病院としてさらに充実を図られている。今後、一層の経営合理化による財政基盤の確立が必要となるが、見解は。

#### 医療機能向上 財務基盤確立に努力

答 大型医療機器更新に向け平成24年度よりコスト削減を強化した。今後は、医療機器更新に伴い、保守費の見直し、さらなるコストの削減を図るとともに、更新する医療機器により、医療機能の向上とともに収益増を図り、財政基盤の確立に努める。

#### 市内在住の職員の増加に 向けて

問 池田市職員の60%が市外に住んでおり、昨年の台風や集中豪雨時に緊急参集をかけたも、参集に時間がかかる状況にある。

#### 市内の若者対象に 説明会開催へ

答 市内の子どもたちに小学生の頃から、将来は池田市で消防士や看護師、先生、事務職員などをめざしてほしいということをお知らせしておく必要があると考えている。職員採用は、今後も人物重視の教養試験廃止型の採用試験を拡充し、池田に対してより熱意を持つ人材の確保に努めるとともに、市内に住む若者を対象に市職員になることを希望してもらえよう。将来を担う子どもたちに対し、消防士・看護師など市職員として、自分たちの生まれ育った地域で働いていただくよう努力していく。



# 代表質問

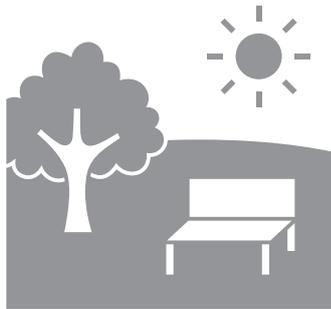
民社・友愛議員団

内藤 勝 辻 隆 児  
前 田 敏



質問者 辻 隆 児

人・自然・文化の調和する  
「ガーデンシティ池田」を



## 「ガーデンシティ」の 理念を問う

問 小南市長は、人・自然・文化の調和する「ガーデンシティ池田」構想を打ち出された。日本庭園は庭園の背景を借景にするという意味において、庭と背景の調和は不可欠である。

また、池田市内のどこからでも見える五月山は庭園の借景であり、里山整備もさらに重要になってきたと思う。

「ガーデンシティ池田」構想の理念と全体像はどのようなものか。

## 人・自然・文化の 調和こそ理念

答 「ガーデンシティ池田」構想の理念は「人・自然・文化の調和するまち」の実現であり、総合計画に位置づけられた全ての施策の展開である。

## 観光都市池田の潜在力 を問う

問 古来、我が国は、農業国であり儒教の影響もあり、「物見遊山」とか「旅の恥はかき捨て」を嫌いながらも、農閑期には伊勢参りなど旅行好きな面もある。「人が動く。物が動く。金が動く。」ということで、今観光は経済効果が大きいといわれるようになってきた。顧みて、我が池田市は、観光都市になりうるのかという議論が、いつも長浜市を引き合いに出しながら、30年以上前から戦わされたが、その頃、既に本市では観光振興係が設置されていた。

長浜市には歴史遺産が多く、その上、京都・名古屋間150kmの中間地点で、かつ、北国街道筋にあるなど好条件にある。一方、本市は京都へ40分、神戸へ35分、大阪へ20分と交通の便がよいことで、通過されてしまう。

平成11年にインスタントラーメン発明記念館が建設され、昨年は70万人の来館者があった。また、多くの文化財もあり、これらに池田ゆかりの画家の作品を展示する近現代美術館を建設すれば、にぎわい創出になると思うが見解は。

## 五月山の自然と 文化財を資源に

答 池田市は、観光客を呼び込む資源・ポテンシャルを有しており、観光案内所の開設や五月山回遊ルートへの提示、シャトルバスの運行、池田・園芸高校ブランドの開発、ダイハツヒューモビリティワールド等でさらなる観光客の増を見込む。

また、美術館については高額な費用を要するので、当面は池田ゆかりの画家の作品をその時々市民の身近な場所に展示したい。

## 市長の再選出馬 意向を問う

問 市長は就任以来、市民や議会と対話を重ね、市民本位の着実な成果をあげてこられた。本年12月に予定されている市長選に出馬されるなら、我が会派も他の会派とともに協力して支援したいが。

## 市民の意向を踏まえ 出馬する決意

答 これまでの市政を継承しながら、改めるべきことは改めて、子育て、老人福祉、教育に対して大きな事業をさせていた。今後も職務を継続してまいりたい。

# 各派



【質問者】 馬 坂 哲 平

## 公明党議員団

吉 本 光 夫      木ノ平 恵 子  
馬 坂 哲 平      多 田 隆 一

### 住みよいまち、住んでみたいまち 池田市をめざして

**国際交流センターの新設を要望**

【問】 当市のさらなる国際化と外国人の定住化促進のために、「池田市国際交流センター」を構想する時期に来ているのではないかと。

**ひと部屋からでもスタートが重要**

【答】 将来に向けて、たとえ一つの部屋からでも、国際交流センターをスタートさせることが重要。

**「さくらのまち池田」を掲げては**

【問】 猪名川河川敷や夫婦池公園を起点にしたサクラ植栽事業が本格的に進められる中、「さくら回遊ルート」を設定して、「さくらのまち池田」をPRしてはどうか。

**当市を訪れてもらうことが重要**

【答】 「さくらのまち池田」は重要な視点である。当市の桜に関する事業をPRすることで、まずは当市を訪れてもらうことが重要。

**池田病院に緩和ケア病棟の新設を**

【問】 「がん拠点病院」として、終末期を安心して過ごせることをめざした緩和ケア病棟の新設を検討する必要があるのでは。

**市民にとっても必要と考えている**

【答】 緩和ケア病棟の設置は、重要な課題であり、20床程度の病棟設置も将来的な課題と認識している。

**市民の協力で徘徊高齢者対策を**

【問】 徘徊高齢者と思われる高齢者に対して、どのように接していくのかなどについての講座や研修会を市民向けに開催してはどうか。

**継続性のある研修会の開催を検討**

【答】 認知症サポーターや市民に対して、一過性ではない、継続性のある研修会も検討していきたい。

**4月からの保育料激変緩和措置は**

【問】 保険料の算定基準の見直しで同じ所得でありながら保育料が高くなる家庭への激変緩和措置は。

**経過措置を考へ負担増を抑制する**

【答】 約1割の世帯が負担増になる可能性があるが、経過措置を検討して負担増を極力抑制する。

**発達障がい児の早期療育のために**

【問】 やまばと学園の定員枠の拡充やポーターと思われる発達障がい児対策、親への支援体制を問う。

**具体的に取り組んでいく**

【答】 やまばと学園の定員枠を増やし、ポーターの子どもたちには「ひまわり親子教室」を開設する。保健師や心理相談員による相談体制も、一層機能させていく。

**職員の人材育成基本方針について**

【問】 本年改訂された「人材育成基本方針」策定の目的は。

**市民と一緒に課題解決できる資質**

【答】 環境の変化に伴い、求められる職員像も変化している。これから求められる職員の資質は、市民の方と一緒に課題の解決ができるかどうかだと考える。

# 代表質問

まちの見張り番議員団

中西昭夫 山口勝平  
安黒善雄



質問者 中西昭夫

活力ある市の将来像を明確にし、  
行財政改革を生かせ

## 「どうする、どうなる」学校給食

**問** 学校給食センターは池田小学校敷地内にあり、最近の学童増加により、仮設校舎建設予定や、移転要望の声がある。

市教委はセンターの施設耐用年数から平成29年以降、民間調理場活用（デリバリー）方式も視野に入れ、細河小学校跡地を給食センター候補地としている。また、池中、浜中の中庭を独占して自校方式の実施設計を1860万円の費用で作成したが、わずか数か月で不用（提訴中）とした経緯がある。現行の中学校給食「デリバリー」方式は生徒や保護者の人気は低いとみるが、改定策も含め給食制度の取り組みを市長及び教育長に問う。

## 学校給食は検討の時期にある

**答** 中学校給食も含めた新たな形で検討する必要がある。池中及び浜中調理場と2階のランチルームに関しては、係争中のため答弁は差し控えたい。

## 将来像確立を 行財政改革に生かせ

**問** 平成27年度、小南市長の市民サービス事業は合格であるが、少子高齢化進行に伴い社会福祉経費は増大する反面、税収は低下する。

今後の大型施設更新等財源確保で、市行財政改革の必要性を認識しながら、市長が提示した財政4年間計画には職員数を500人台から600人程度、経常収支比率は90%台では目標が見えず、財政調整基金33億円もあと2年で枯渇と見る。加えて、形式収支の黒字化も8年先に延長し、行革の具体的方策も皆無で効果額ゼロと表現。財政規律を破いての財政運営は市長の責任放棄ではないか。人員削減及び給与カット等市長は身を切る改革に徹するべきだ。高い行政水準を維持するならば財源確保が第一である。市長の見解を求めらる。

## 改善は粛々と行う

**答** 市税収入は大幅な増収が見込めず、社会保障関係経費は増加し、厳しい財政状況であるが行財政改革等で健全な財政状況を継続する。「基金」は使うためである。改革の効果額は各年度の最終報

告にて公表する。

## 市100年計画・基盤整備を

**問** 本市が先送りしてきた少子高齢化、将来人口8万人予測、公共施設の老朽化、所得・福祉等あらゆる格差の拡大は、行政と民間が一体化して課題解決の時期にある。行政の役割「税の再配分」を明確にし、透明性と信頼性を高めた「池田市再生」25ヶ年計画を問う。

## ガーデンシティ池田構想の実現

**答** 法に基づく「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定する予定。行政運営については池田市総合計画に基づき進めていく。



# 各派



【質問者】 渡 邊 千 芳

## 市民クラブ議員団

松 本 眞 渡 邊 千 芳  
山 田 正 司 川 西 二 郎

### 人口減少時代に向けての 市民と行政の協働のまちづくりを

**人口減少に向けての  
まちづくりを**

**問** 日本創成会議は2040年の池田市の人口予想を8万4000人と発表した。今後、定住人口10万人を切らない目標をどのように政策に反映させるのか。

また、行政は将来の人口動向を見据えまちづくりを構想しなければならぬが、見解を。

**人口動向を見ながら  
施策を展開**

**答** 子育てサービスや住宅整備を充実させ、市民、企業、行政が連携して人口流入を促進し流出を抑制していく。一方、人口の減少を前提としたまちづくりも展開する。

**空き家対策を  
今後のまちづくりに**

**問** 人口減少時代の空き家・空き地対策は今後の池田市のまちづくりの中心になっていくと考える。その中で、ニュータウン現象にある伏尾台は急速に空き家・空き地が多くなっているが、対策は考えているか。

**民間が主導で行ない  
行政が協力**

**答** 現在、伏尾台をモデル地域とし、大阪府不動産コンサルティング協会が国土交通省の補助事業を活用して、空き家所有者の負担を軽減するサポートシステム構築のための空き家管理作業マニュアルの作成を進めており、池田市も協力していく。

このマニュアルを活用し、伏尾台をはじめ、他の地域の空き家管理の基盤強化に役立てていきたい。

**行政の仕事  
地域が担う仕組みを**

**問** 地域分権はいろいろな課題を解決しながら住民自治の確立に向かっている。

その中で、今注目されている地方における小規模多機能自治システムは行政の仕事が地域が担う仕組みであり、本市も参考にしては。

**小規模多機能自治推進で  
連携する**

**答** 池田市の地域分権のような市税の一部を地域に渡す小規模多機能の取組みが全国的に広がっている。先日、設立された伊賀市・名張市・朝来市・雲南市による小規模多機能自治推進ネットワーク組

織に池田市も参加を表明し、自治体間の横の連携を図っていく。

**ほそごう学園が  
まちをつくる**

**問** 池田市初の施設一体型小中一貫校であるほそごう学園はリーディング校として期待している。

教育システムに特徴を持たせたほそごう学園で子どもを育てたいと伏尾台に引っ越すぐらいの学園となり、学園がまちをつくるようになってほしいが。

**一体型のメリットを  
最大限に活用**

**答** 本学園では「子どもたちが通いたい、子どもを通わせたい学校」づくりをめざし、3校の教員一同で開校に向けた準備を進めている。

具体的には、全ての子どもたちが理解し、参加できる授業づくりをめざし、9年間を系統的に指導し、一体型のメリットを最大限に活かした教育環境をつくり、伏尾台の活気も取り戻したい。





3月定例会では、市長から提出された議案のうち27件の議案及び請願1件を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月19日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

また、請願1件については、不採択と決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

**4つの選挙  
予算額が違う理由は**

〈一般会計予算〉

**問** 平成27年度に任期満了を迎える市長など4件の選挙費を予算計上しているが、複数名を選出する市議会議員選挙を除く市長選、知事選、府議選は、それぞれ1名を選出する選挙であるにもかかわらず、費用に約1千万円ずつの違いがあるのはなぜか。

**公費負担が選挙で異なるため**

**答** 各選挙における人件費の単価はおおむね同等であるが、選挙によって期日前投票の期間が異なっていること、また、選挙運動用のポスターの作成や自動車の使用、葉書の郵送費用など、候補者の個人的な財力によって選挙に不公平が生じないように一定の公費負担が認められているものが選挙によって違うため、選挙費用に差異が生じている。

## 文教病院委員会

**制度改正後の協議会は  
教育委員で組織すべきでは**

〈大阪府豊能地区教職員人事協議会  
規約の一部変更に関する協議〉

**問** 教育委員会制度の改正に伴い、本規約を変更し、大阪府豊能地区教職員人事協議会を関係市町の教育長で組織することは、協議会の運営に対して教育長を任命した各首長の意向が強くなり、協議会における教育行政が歪められる危険性がある。

**教育長で組織しても  
従来と同様の運営が可能**

**答** 今回の制度改正で首長との連携は現行より密になると考えるが、当協議会が豊能地区の教育長で組織されても、協議会の協議内容を関係市町の教育委員会に報告し、最終的に各教育委員会の決議や議決をもって意思決定されるため、新たな組織でも従来とほぼ変わらない運営ができると思われる。

**大型医療機器導入で  
期待できる効果は**

〈病院事業会計予算〉

**問** 資本的支出の建設改良費について、複数の大型医療機器の購入が予定されているが、これらの機器を導入することにより期待される具体的な効果について問う。

**治療時間や検査までの待機日数の短縮が見込める**

**答** 今回のリニアックとCTの更新により、治療時間が大幅に短縮され、より多くの患者の診療が可能となる。

また、MRI増設の効果としては、二、三週間待ちが現状となっている検査までの待機日数の短縮に加えて、即日の検査も可能になることが期待され、当院への紹介率の増加が見込める。

今後、各医療機関に対して、地域医療連携室だよりを通じて積極的にPRし、周知を図っていく。



## 厚生委員会

### 高齢者の見守り 今後の取り組みは

《介護保険事業特別会計予算》

**問** 本予算では、GPSを導入した高齢者を見守る事業として、新たに徘徊高齢者探索システム委託料を計上しているが、対象となる高齢者の要件について問う。

また、高齢者見守りの今後の取り組みや方策について見解を問う。

### 地域各種団体との連携も含め システムの構築を図る

**答** 対象者については、GPSの利用方法も踏まえて、地域の民生委員等と協議の上、検討していく。また、今後の取り組みについては、高齢者や認知症者のみならず社会的弱者といわれる人々を地域で見守る方法を考えなければならぬことから、介護保険事業にとらわれず、地域分権制度による活路や、地域の自治会や老人会等の各種団体との連携により個人情報を取り扱いを含めたシステムの構築を進めていきたい。

## 土木消防委員会

### 石橋第2増補幹線築造工事 概要とスケジュールは

《公共下水道事業会計予算》

**問** 昨今、多発するゲリラ豪雨により雨水対策が重要な行政課題として注目されている中、平成27年度より石橋第2増補幹線築造工事に着手されるが、概要とスケジュールについて問う。

また、工事に伴う渋滞の発生など周辺道路の交通への影響に対する見解を問う。

### 平成30年度までの 4カ年で計画

**答** 石橋第2増補幹線は、石橋南地区の浸水対策として、住吉1丁目から空港1丁目にかけて約1・3kmの管渠（地中に埋設した排水管）を築造するものであり、工事期間は平成27年度から平成30年度までの4カ年で計画している。平成27年度から平成28年度を第1期工事として、大阪国際空港前から住吉2丁目付近までの750mを、平成29年度に第2期工事、平成30年度に第3期工事を予定している。

また、工事はシールド工法及び

推進工法で施工し、発進立坑を中国自動車道のインターチェンジ内にある大阪府の用地を借りて設置

するなど交通への影響が極力少なくなるよう配慮しながら進めていきたい。

## 議会 会 目 誌

### 2月

2月24日

予算内示会

2月27日

市議会定例会

市議会だより  
編集特別委員会

### 3月

3月5日

各派代表者会議  
議会運営委員会  
市議会定例会

### 4月

4月6日

市議会だより  
編集特別委員会

4月15日

市議会だより  
編集特別委員会

3月6日

市議会定例会

3月9日

土木消防委員会

3月10日

厚生委員会

3月11日

文教病院委員会

3月12日

総務委員会

3月13日

各派代表者会議

3月19日

各派代表者会議  
議会運営委員会  
市議会定例会

## 議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月18日(月)に臨時会を開催する予定です。6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。

(定員あり)

6月 5日(金)	本 会 議
6月 8日(月)	委 員 会
6月11日(木)	委 員 会
6月12日(金)	委 員 会
6月15日(月)	委 員 会
6月25日(木)	本 会 議
6月26日(金)	本 会 議

